

Race Committee から選手・支援者へのメッセージ

このドキュメントは、新型コロナウイルス感染防止、三密防止対策として、大会プリーフィングを短時間とするために事前展開するものです。同じ理由で、レース公示、帆走指示書、大会を管理する文書への質問は、大会webサイトで入手することが出来る書式を用いた事前送付を推奨します。事前送付された質問に対する回答は、大会webサイトに掲示されます。

■レース運営方針

以下はいかなる規則も変更していません。またこのとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

▶ 基本的な考え方

『安全』を最優先とした『公正』『公平』で、『選手に判り易い』高品質なレース

『安全』 …………… 天候変化への先手管理
レース委員会、プロテスト委員会、支援チーム全体での安全確保

『公正』 …………… 規則はもとより、World Sailing Standard に準拠した運営
➢ Race Management Manual, Race Management Policies

『公平』 …………… ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ設定で、計画12レースの完全実施を目標

『選手に判り易い』 ……… デイリー・プリーフィングを通じた、選手・監督とコミティとの意疎通促進
三密防止対策として、大会webサイトで各ドキュメントを展開
LINE公式アカウントを活用したインフォメーション（公式掲示ではない）

これらは、レース委員会の行動だけで達成できるものではありません。選手・監督、全ての支援者のご協力をお願いいたします。

▶ 安全：レース実施の風速基準

4Knt – 25Knt (IODA Race Management Policies)

【艇が出艇前】

海上風速が上記範囲外の場合、「D旗」は掲揚しない。

【レース中 風速がレース海面全体で一定時間4Kntを下回った場合】

規則32.1(d)に基づき、レースを中止する場合がある。
レースの中止・続行は、フリート全体の艇速とレースの公平を考慮して決定する。

【レース中 風速がレース海面全体で一定時間25Kntを上回った場合】

規則32.1(d)に基づき、いつでもレースを中止する場合がある。
レースの中止・続行は、フリート全体の安全とレースの公平を考慮して決定する。

▶ 安全：レスキュー体制

- 本選考会では、全ての支援者艇にコミティと共通チャンネル（デジタル無線機 1CH）を貸与します。
貸与する無線機は傍受専用ですが（公示18.1(v)）以下の場合のみ発信を許可します。
 - ①選手、支援者他、参加者の安全に危険が差し迫る様な緊急事態が発生した場合（単なる沈艇発生はこれには含みません）
 - ②コミティから支援者艇に呼びかけがあった場合
- 本選考会では、海面状況に応じてレース委員会艇5艇、プロテスト委員会艇2艇、支援者艇15艇全体で安全を確保します。
ハーバーに自力で帆走できない艇の曳航、及び怪我をした人員の陸上への移送は原則支援者艇で行っていただきます。
- レース海面全体で一定時間23Knt上回った場合、指示22.6に基づき、信号艇からの通信指示により、支援者艇に安全確保のための活動に協力いただきます。支援者艇の行動は、別途展開の『支援艇ガイド』に準拠下さい。

▶ 安全：海上での救助の合図

- 指示18.5に基づき、救助を必要とする選手は、笛を吹くかバドルまたは片腕を振って、その意思を伝えてください。
運営艇または支援艇からの救助に対する問いかけがあった場合は、下記の方法で返答をしてください。



OK !

水上で救助が不要の場合、
手のひらを握って近くのレスキュー艇、
または運営艇に合図して下さい。



Help !

水上で救助が必要な場合、
手のひらを広げて近くのレスキュー艇、
または運営艇に合図して下さい。

▶ **公正**

- 本選考会は、World Sailing Standard に準拠して運営していきます。
運営艇または支援艇からの救助に対する問い合わせがあった場合は、下記の方法で返答をしてください。
World Sailing Race Management Manual (World Sailing HP にて参照することができます。)
IODA Race Management Policies (IODA HP にて参照することができます。)

これらの指針はセーリング競技規則の定義にある「規則」には該当しませんので、指針どおりとならない場合でも、抗議・救済の根拠とはなりません。

▶ **公平**

- ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ長設定で、計画の12レース完全実施を目標としています。
23日から26日の4日間で各日3レースの実施を計画しています。
計画しているレースを完了させるため、23、24、25日は最大4レースを実施する場合があります。(公示10.2 指示6.2)
選手にコミティの意図を明確に伝えるため、計画どおり3レースで終了する場合でも、フィニッシュ艇に「AP旗+A旗」を掲揚します。
計画3レース終了後に4レース目を実施する場合、フィニッシュ艇に「AP旗+A旗」を掲揚しません。

▶ **選手に判り易い**

23日は 09:30より、24、25、26日は09:00より、大屋根下でソーシャルディスタンスを確保した上で、プリーフィングを実施します。
コーチ・支援者からの意見も歓迎します。但し規則に関する問い合わせは、文書をお願いします。
プリーフィング以外で、レース委員会に対して問い合わせがある場合、公正と公平を担保するために大会HPで入手できる【Request to Committee】に記入し、提出してください。回答は公式掲示板に掲示します。

◆ **効率的なレース進行に向けてのお願い◆**

レースが実施出来るコンディションである場合、レース委員会は可及的速やかに次のレースを実施します。
フィニッシュした艇は、レース中の艇を回避して速やかにレース委員会信号艇に向かって下さい。

◆ **豊田自動織機 海陽ヨットハーバーの開門/閉門について◆**

閉門の定時時間は17:00ですが、レースやヒヤリングの状況により適宜延長いたします。
撤収が可能となったチームは、速やかな閉門に協力をお願いいたします。

■ 帆走指示書の補足説明 (以下の文章の番号は、帆走指示書の項です)

以下はいかなる規則も変更していません。またこのとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

3. 選手とのコミュニケーション

3.1 競技者への通告は、公式掲示板及び大会webサイトに掲示される。

公式掲示板への掲示、大会webサイトの更新についての情報など、愛知県ヨット連盟レースマネジメント委員会LINE公式アカウントにて通知される。
大会webサイトへの掲示不備、LINE公式アカウントの通知不備については、艇からの救済の根拠とはならない。これは規則60.1(b)を変更している。

▶ 大会webサイトに公式掲示が設けられています。

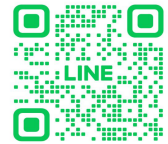
右記QRコード①より、大会webサイトにアクセスできますので、適宜確認をしてください。
右記QRコード②より、大会LINE公式アカウントにアクセスできますので、登録をしてください。

なおLINE公式アカウントは、選考会終了後、各自で友達登録を解除していただくようお願いします。

①大会webサイト



②LINE公式アカウント



18. 安全規定

18.1 [NP][SP] 出艇申告、帰着申告はタリーを活用する。

出艇する艇は、タリーボードから自艇のタリーカードを取ってチェックアウトをしなければならない。
帰着した艇は、帰着後速やかに、タリーボードに自艇のタリーカードを返却してチェックインしなければならない。

▶ ラミネート加工されたカードです。自艇のセール番号の書かれたタリーカードを取ってください。

22. 支援チーム

22.1 [NP][DP] すべての支援者とすべての支援者艇を含む支援チームは、大会webサイトで入手できる【支援チームガイド】に従わなければならない。

22.2 [NP][DP] 支援者艇は、出艇前に出着艇申告所に用意された支援艇出艇申告書にサインするとともに、傍受専用無線の貸与を受けなければならない。

貸与された無線は、自然劣化を除き、貸与された状態を保全しなければならない。

▶ 無線機の取り扱い、救助の協力については、大会webサイトから入手できる『支援チームガイド』を参照してください。